

教科	科 目	単位数	学年・クラス
公民	政治・経済	3	3年1組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 改訂版 政治・経済
出版社	第一学習社
副教材等	令和5年度版 政治・経済ワークブック
出版社	愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会地理歴史部門

2 学習の目標

<p>広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>
--

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 関心・意欲・態度	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。
② 思考・判断・表現	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
③ 技能	事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
④ 知識・理解	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

評価方法 \ 観点	観点				備考
	①	②	③	④	
授業の受講状況	C	A	C	B	授業内での発表やグループ活動での参加状況を含みます。
レポート提出	A	A	B	C	倫理に関する自分の意見を表現することを含みます。
ノート提出	A	B	C	C	ノート提出を通じて、普段の学習状況を確認します。
定期考査	B	B	C	A	記述問題を含みます。

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	<p>現代の政治</p> <p>第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 政治と法の機能 人権保障と法の支配 裁判所機能と人権保障 地方自治制度と住民権利 世論と現代政治の課題</p> <p>第2章 現代の国際政治と日本 国際政治の動向 国際連合の役割と国際協力 安全保障と日本の防衛 国際平和と日本の役割</p>	<p>民主政治の基本原則、民主政治の歴史、世界の政治制度などについての理解を深める。 日本国憲法の基本的性格、人権保障、平和主義などについての理解を深める。</p> <p>日本の政治機構を理解し、民主政治における政治参加や世論形成の意義や重要性を考える。 国際法、国際連合、国際政治の現状などを理解し、日本が今後、国際社会において果たすべき責任について考える。</p>
2 学期	<p>現代の経済</p> <p>第1章 経済社会の変容と経済のしくみ 資本主義経済の発展と社会主義経済の変容 日本経済のあゆみ 中小企業問題 社会保障制度の充実</p> <p>第2章 国民経済と国際経済 国際経済のしくみと現状 環境保全と資源 エネルギー問題</p> <p>現代社会の諸課題 第1章 現代日本政治や経済の諸課題</p>	<p>経済社会の歴史、市場経済のしくみと政府の役割についての理解を深める。 経済の発達に伴う、経済構造の変化、中小企業問題、環境保全の課題、労働問題、社会保障の役割などについての理解を深める。</p> <p>国際経済のしくみと現状についての理解を深め、日本の果たすべき役割について考える。 現代の日本が抱える課題を、政治と経済との関連に留意しながら、様々な角度から考え、望ましい解決の在り方を考える。</p>
3 学期	<p>第2章 国際社会の政治や経済の諸課題</p>	<p>現代日本や国際社会が抱える課題のうちいくつかを取り上げて、自ら調査し、まとめる作業を通して、望ましい解決の在り方について考える。</p>